

## 多職種合同カンファレンス（全体評価） 2

### カンファレンス参加前後の職種に対するイメージ変化

第4回多職種カンファレンスの参加者に対して、「カンファレンスに初めて参加する前と今現在で、職種のイメージやその職種の役割に対するとらえ方が特に変わった、あるいは、新たに知ったことの多かった職種」を3つ選び、回答を求めた。その結果、特にイメージの変化が多かった職種（選択割合）は、1. 薬剤師（66.7%）、2. 歯科医師・歯科衛生士（56.8%）、3. 医師（48.8%）であった。

職種	アンケート回答人数	該当人数	選択人数	選択割合
1 医師	14	84	41	48.8%
2 歯科医師・歯科衛生士	10	88	50	56.8%
3 看護師	21	77	14	18.2%
4 薬剤師	17	81	54	66.7%
5 PT/OT	8	90	9	10.0%
6 ソーシャルワーカー	11	87	27	31.0%
7 ケアマネジャー	16	82	39	47.6%
8 居住系施設職員	0	84	2	2.4%
9 在介・地域包括	1	97	2	2.1%
10 市役所職員・その他	0	98	4	4.1%
合計	98		242	

#### ①「医師」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	医師はあまり興味ない内容であろう。	何かしら問題を抱えていてそれを聞くことができた。問題意識として持っておられたことで今後はディスカッションが出来るかと勇気づけられた。
歯科	医師が中心的な役割と考えていました。	ケアマネジャーが中心となって在宅医療の一端を担っている。
歯科	近寄りやすい職種	もう少し色々と話がしたい。
歯科	多忙な医師とは連絡が取りづらく、気後れする事も多かった。	医師にも色々な方がいるのできちんと職種に関わらず、多職種連携に前向きな方もいるとわかったので、出来るだけ連携をとろうかと思えます。
歯科	こわい	優しい先生が多い
歯科	大学病院の先生なので、病院の「外」に対してはどうなのかなと思っていた。	仕組みもよくご存知で失礼しました。
Ns	連携が取りにくい。気後れするとの思い込みにとらえられていた。特に開業医の先生方。	先生方もこのカンファレンスに積極的に参加して下さっており、連携を考えていると理解できた。
Ns		在宅、地域に根差している Dr も少なくないと感じた。

Ns	固いイメージ	・やわらかく、色々な職種の人を理解している。
	HPのDrは在宅に興味はなさそう。	・在宅医療に積極的
Ns	距離を感じた	カンファレンスに多くの医師が参加しているのに驚きました。意見も冷静でかつ合理的で・・・今後もよき相談者となりそうな期待をしました
薬剤師	往診専門の医師ではなく開業医との関わりがあることは知らなかった。	患者さんの症状・状態に応じて、様々な専門の開業医やDrにも協力いただけているのだと知った。
薬剤師	在宅医療に関して無関心な勤務医が多いと思っていた。	在宅医療に理解があり、フランクな人柄が多い。
薬剤師	なかなか連携がとりにくい。話をする機会がもてない。	医師の先生と共有できる時間をもてた。在宅に対する考えを聞くことが出来た。
薬剤師	敷居の高い存在	在宅に関しての取り組み、姿勢がわかった。
薬剤師		ずい分近い関係になれました。
薬剤師	地域医療のリーダー	・同じ悩みをかかえる
	ある意味独善的	・常に最善をもとめている
薬剤師	医療のみをしている。	介護にも深く関わっている。
PT/OT		Drにもコミュニケーションツールを考え積極的にコミュニケーションをとろうと思う。
PT/OT	どういう思いで仕事に従事しているか分からないことが多かった。	会の主催が在宅Drを有するクリニックであることと地域全体の意識向上の重要性を感じた。
PT/OT	地域にいる医師と多くははなせていないので・・・	地域にいる医師は非常にいろいろな考えがあることがわかった。
PT/OT		このような場にご参加下さるDrがいらっしゃる(勤務医)ということ
SW	在宅診療に関心のある医師は少ない。	少ないかもしれませんが、熱意をもってやっていく気持ちがありました。
SW	在宅医療についてあまり関心がない。	在宅医師や病院医師でも、在宅医療について深く考えている方が多い。
SW		制度、市民意識の変革も視野に入れてお仕事をいらっしゃる人達なんだと知る事が出来た
SW	他職種連携に興味が無い方が多い。	チーム医療/社会背景も治療や今後の療養に大切と思っている先生がいることを理解できた。
SW		病院の勤務医に対してもう少し距離が縮まる為に医師会が機能していないようだ。
CM	怖い、忙しい、介護職を見下している	Drによっては、一緒になって考えて下さる方もいるのだなと目線がかわりました。
CM	近づきにくいと感じていた。	先生方も真剣に在宅移行に取り組んで下さっていると感じ心強い。

CM		在宅支援を考えて下さる Dr がふえてきたような気がします
CM	敷居が高かった	連絡の仕方を工夫すれば接点を持つことができると勇気づけられた。
CM	固いイメージ／敷居が高い	なかには話しやすい先生がいらっしゃるし、一所懸命に考えてくれているのがよくわかりました。
CM	多忙であり、こまかい在宅の問題を聞きづらい。病気に関しては聞いてくれるが、生活面までは指導してくれないようなイメージ。	在宅医療に関してとても前向きに考えてくれて頂いている先生が多いのに積極的に医師と関わりを持つことが連携でも大きな役割と感じています。
CM	在宅や介護への理解不足と考えていた。	医師によっては大変前向きに在宅生活のことを考えておられると思った。自分の方がもっと医師へ積極的に相談していきたいと思った。
CM	介護なんて在宅でくらすことなんてあまり興味ないのかと思っていた。	そんな人ばかりじゃなかった。
CM		在宅に興味、関心をもたれている大きな病院の先生方が多くいらっしゃる事がわかりました。

## ②「歯科医師／歯科衛生士」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	歯の治療をする技術屋	患者をトータルで考えて対応したいと模索している。
Dr	不明	関われる分野 共有できる分野一緒に患者さんのためにプラスにしていくことができる信頼できる仲間
Dr	在宅との接点はなかった。	口腔ケア等重要な職種とわかった。
Dr	どちらかという在宅とは疎遠な印象	歯科医師の先生が在宅に大きく関わっていただけののではないかという期待が持てた。
Dr	在宅に対してはかなり積極的と思っていた	意外と医科とかわらず外来しているため、在宅へ出ていくのは大変というのは同じ ケアマネと連携ができていない。
Dr	何ができるのか知りませんでした。	PtのQOLに大きく影響することを知り現在は多くの相談をしています。
Dr	虫歯や義歯を治してくれる先生	口腔ケア おいしくたべられる口内環境をつくることにより ADL 生命を支える
Dr	訪問歯科診療にはあまり乗り気でないイメージがあった。	昨年からはじめられているというお話をきき、積極的に取り組まれているのだと感じた。
Ns	歯の事ばかり考えていると思っていた	口の中全体の事を考えたりその利用者さん一人一人の事をすごく考えていると感じました

Ns		誤嚥性肺炎の治療等もかかわってくれる。
Ns	訪問して義歯や虫歯を治療する人	よくたべることおいしくたべることと一緒に考えてくれる人
Ns	歯科医師は歯科の事しか興味ないと思っていた。	全身状態の事や生活環境について等情報を共有したいと思っていたら、心強く思った。
Ns	なかなか連携をとることがなくあまり意識をしていなかった	在宅でのチームとして連携の必要性を感じ、歯科の方も同じように連携のあり方をさがしていらっしゃるということ
Ns	関わるのがほとんどなかった為、イメージできなかった。	全身状態を把握していきたい、情報がほしい、ということを知った。共有していきたい。
Ns	連携が取りにくい。気後れするとの思い込みにとらえられていた。特に開業医の先生方。	先生方もこのカンファレンスに積極的に参加して下さっており、連携を考えていると理解できた
Ns	訪問歯科の入った利用者があっても治療の情報がなかった。	今後は共有情報として口腔ケアなどもすすめられるかなーと思えた。
Ph	歯科医の主治医名を知らなかった。	口腔ケアの重要性を知り、誤嚥性肺炎防止を含め、大切な分野だと思った。
Ph	歯科の Dr は在宅はほとんど行わないと思っていた。	歯科 Dr が在宅で入っていただくことの重要性が分かった。
Ph	歯科は病院に行くもの	歯科が在宅ケアに必要であることが理解できた。
薬剤師	歯の治療のみ	治療だけでなく口の衛生が大事でそれが誤嚥性肺炎にまでなると聞いて、その有用性を認識した
薬剤師	・ 歯科医院での主な指導	・ 嚥下についてアドバイス
	・ 入れ歯等のケアのみ	・ かみ合わせの確認、口腔ケアの重要性等も訪問して行っていると知った。
薬剤師		歯だけでなく食にまで関係していること
薬剤師	どのように在宅に関わっているのか分からなかった	食に対する重要性
		口腔ケア
薬剤師	歯科と介護はむすびつかない	口腔ケア
		たべることが基本
		歯科領域が介ゴに必要なのだということ
薬剤師	歯科の健診に関しては知っていた。	在宅への関わりが広がっていることを知った。
薬剤師	在宅に関わりの少ない職種と思っていた。	口腔ケアからさまざまな関わりをもたれている事がわかりました
PT/OT	交流がなく、考え方など把握ができなかった。	地域での役割など把握ができた。
PT/OT	業界の中では訪問サービスについてはあまり重要視されていないと感じていた。	積極的な方がいるのがわかった。
SW	虫歯の治療をする。	誤嚥性肺炎の患者に対し口腔ケアを行ったところ肺炎を起こさなくなったと聞き、大変勉強になりました。

SW	よくわからなかった。	チーム医療としてとても重要であることがわかった。
SW		積極的に行っていることを知ることができた。
SW	他職種連携に興味が無い方が多い	チーム医療 社会背景も治療や今後の療養に大切と思っている先生がいることを理解できた
SW		訪問歯科をやっている Dr の在宅を考えてる姿勢
SW	在宅に戻った時のサービスが良く分からない。	口腔ケアの大切さを知ることができた。
CM	介護と歯科・薬剤師の連携は薄いと感じていた。	ケアマネジャーと歯科・薬剤師との連携が必要だと感じた。
CM	医師よりももっと歯科医師は在宅医療に関して積極的ではないイメージ。	医師と同じく在宅医療に積極的で医療面で必要な役割と感じています。
CM	歯科の Dr が介護保険の事で考えてくれることはない。	やはり Dr によっては、相談できる方もいるのだなと勉強になりました。
CM		口腔特に誤嚥性肺炎の予防
CM	在宅の利用者の生活にはあまり関心がないと思っていました。 治療をするだけかなと。	生活全体を把握したいと考えていることを知った。
CM	歯の治療のイメージのみだった。	食事の形態や嚥下機能向上など、又、口腔ケアなどもっとたくさん相談できると良いと思う。
CM	訪問で治療にきていただいてもよくわからない。	口腔ケアにまじめに考えてくれているのがよくわかりました。
在/包	・相談しにくい ・在宅でやってもらえる仕事がわからなかった	・相談していい、してみようと思う
在/包	敷居が高い	MSW や Ns 等を介しアプローチを積極的に行ってみようと思う。

### ③「看護師」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	病院と診療所、訪看でお互いの業務内容については割と知っているのでは	交流が思った以上になかった。
Dr	特別なイメージはなかった。	患者さんへの思いなど様々と分かった。
歯科	現場のことだけに集中しているのかと思っていた。	退院御の患者さんのことまた心配りを考えていらして感心しました。
薬剤師	HP勤務のNsは在宅に無関心と思っていた。	在宅医療に深い理解があり、連携を取りやすいと思った。

薬剤師	看護師の方との関係をとることがなかった。	看護師の方も在宅に対して問題としている点を聞くことができた。
薬剤師	なかなか話しかけづらい。	話しやすい。
PT/OT	各分野で従事している方がいるが、特定のNsしか知らなかった。	Hp、在宅のNsから話を聞くことでその違いを理解できた。
PT/OT	病棟Nsはあまり在宅のことに関心がない。	病棟Nsの在宅への関心の低さに問題意識をもつ人もいる。
PT/OT	病院勤務の方の在宅に関する意識は低いと思った。	在宅に対する意識をしっかりとっていらっしやった。
SW		ケースに幅があり、とても具体的な悩みや意見のあることが分かった。
SW	入院している利用者に対して、退院の時に看護師（訪問看護）を入れてあげるべきか、気軽にサービスを利用できるか、分かりづらい。	訪問看護を利用する事の重大さがわかった。ヘルパー以外に看護師（訪問看護）を利用する事により、その人の身体変化に気づきやすい。
CM		在宅をみすえた指導の必要性があるが忙しい中でなかなか困難であるが気持ちは思ったださっていることを感じました。
CM		連携をとりやすく思った。

#### ④「薬剤師」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	薬のことに関するスペシャリスト	患者全体のこと連携のことを深く考えている（診療報酬も関係するが・・・）
Dr	不明	関われる分野 共有できる分野一緒に患者さんのためにプラスにしてい くことができる信頼できる仲間
Dr	薬を出しているところ	患者さんの把握をしていて指導もしている
Dr	在宅との接点はあまりなかった。	在宅に参加したいと思っているとわかった。
Dr	在宅との関わりがあまりない印象（薬局から外に出ない）	病院と調剤薬局とが互いに関係を持ちたいという印象になれた。
Dr	薬局各々は独立しているイメージがあった。	連携を行っている
Dr	カウンターの向こう側で調剤する人	在宅での服薬指導や麻薬の注射製剤の調整もする

Dr	患者さんの病名を知らないことを知りませんでした。	重要さがわかった。
SW	処方箋をもとに薬を処方してくれる方	訪問薬剤指導についてよく分かりました。
PT/OT	普段コミュニケーションをとる機会が少ない。	想像以上に熱意があることにおどろいた。
歯科	薬剤師の方からの問題点があまり良くわからなかった。	情報の共有はとても大事とわかりましたので、出来るだけ情報の共有が出来ればと思いました。
歯科	医師との連携はあるが他職種との連携が不足しているのかと感じた。	医師のみならず他職種との連携に協力的であるように思われた。
歯科	よくわからない	がんばってる
Ns	薬の服薬指導等が主な仕事だと思っていたが	薬以外のことも相談に応じていたり、どこに相談してよいかわからない人にも対応していたりと
Ns		訪問診療を利用していなくても主治医の指示があれば訪問薬剤を利用できることを今日知った。
Ns	特殊な疾患の時にしか出番がないと思った。	24hr、365 日に向けて努力している、検討していらっしゃる事を知った。
Ns	どう連携したらいいか分からなかった。	在宅でのチームとして連携の必要性を感じ、薬剤師の方も同じように連携のあり方をさがしていらっしゃるということ
Ns	直接かかわること少なく間接的	手帳など、又 FAX などで共有していきたいと思った。
Ns	お薬手帳をあまり確認しなかった。	今後必ず服薬状況確認作業として手帳見せてもらうことで病院、通院なども確認できる。
Ns		訪問対応の意識があまりないと思っていたが、意欲的な方がいた。
Ns		訪問にいつている事を知った。
Ns	民間の薬局は薬の販売のみ行っていると思っていた。	医師の指示があれば自宅まで行って服薬指導を行っていることなど知らなかった。
Ns	在宅の場で行っているイメージがなかった	在宅での服薬指導や患者への関わり
	麻薬の交換（注射など）で届けているイメージ	薬の一元化ができるよう考えている

Ns	在宅にあまり関わりがないと思っていました。	在宅についての考え方などとてもしっかりされており、かつ勉強されていてすごいなあと感じました。 今後も色々と相談していきたいと思いました。
Ns		病名など主治医への問い合わせが困難になっている。
PT/OT		地域でかかわっている人が多く、患者さんとの相談もされていることがわかった。
PT/OT		薬剤師の方が在宅に積極的であること。
PT/OT	あまり在宅のイメージがなく、どのようにかかわっているのかわからなかった。	積極的に患者様とかかわっており、取り組みの姿勢がわかった。
PT/OT	あまり具体的なイメージがありませんでした。	訪問の薬剤師さんもリハと似通った問題を抱えている（訪問の必要性を理解されないなど）
PT/OT	介護保険サービスはあまり関わりがない。	薬剤師の方も介護サービスについてもしくはケアプランや担当者会議に必要である。
PT/OT		診断書が無く、処方箋のみでの処方を行っている大変さを知った。
SW		積極的に行っていることを知ることができた。
SW	他職種連携に興味が無い方が多い	チーム医療 社会背景も治療や今後の療養に大切と思っている先生がいることを理解できた。
SW	薬局にいる専門職	服薬指導 etc.訪問の活動をされていることを初めて知った。
SW		在宅医との連携に苦勞している
CM	在宅、時に介護からは1番遠いイメージ。	服薬管理の重要性、医師との連携でも必要な役割があると思います。
CM	ケアプランの中に入ってこなかった	これからはプランにも入れ込んで、担当者会議等積極的にお声掛けしてみたい。
CM		飲み合わせ また、Drの気付かない薬剤への考え方



CM	薬が効いているか、副作用はないかと考えていることが多い。	生活全体を把握したいと考えていることを知った。
CM	薬の処方イメージのみだった。	服薬管理や状況の確認等とても大切な役割だと感じた。
CM	どういことをどのくらいやってくれるのかわからなかった。	担当者会議に参加していただいて協力してもらえることがわかりました。
CM		地域に密着している。 相談窓口になっていると感じた。
CM	役割を今ひとつ理解していなかった。	薬剤師の役割が参加前よりわかった。
CM	薬を出すだけだと思っていた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病名を知らずに薬をだしている</li> <li>・介護保険のサービス必要そうと思う人がたくさんいるのにどこに相談すればいいかわからなかったそう</li> <li>・地域の方を支える重要な役割である</li> </ul>

#### ⑤ 「PT/OT」 へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	一般の仕事の延長での考え方の方が主体とっていた。	利用者の立場に応じて考えている事がよく分かった。
Dr	何ができるか知りませんでした。	Pt の QOL に大きく影響することを知り現在は多くの相談をしています。
Dr	リハビリ室で運動訓練をする先生	自宅の改修の指導、在宅リハビリもこなしその人らしく生きることをサポートする職種
Ns	在宅で依頼を受け直接患者のリハビリを行っている。	退院時のカンファレンスに参加し直接情報を取り、他多職種と積極的に連携をとっている。
薬剤師	主に病院内で行っているもの	訪問リハビリの中でも筋力の維持等を目的として行われている
薬剤師	単にリハビリの方とっていました。	患者さんが在宅で生活して上での家の中での動線まで考えている方がおられ、驚きました。

SW	病院、通所でのリハしか知らなかった。	在宅（訪問）での活動があることを初めて知った。
CM	筋力を up し、関節の動きを良くしてくれるリハビリをしてくれる人	利用者の生活機能を一番良く理解している職種だと思いました。在宅を支える土台。

⑥「ソーシャルワーカー」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	在宅の調整をしていく程度だと考えていた。	いろいろと全体の意見を持たれ、しっかりしたお考えを持たれていることを認識させられた。
Dr	何となくのイメージしかなかった。	利用者側に中心をおき役所とのかけ橋的な立場も出来ること
Dr	漠然とお世話になっていた	想像以上に重大な職種と思いました
歯科	何をする人だろう	多職種と医師との間をつなげる人
歯科	あまり知らない職種	何をする仕事なのか知りたい
歯科	よくわからない	CIのために医師と戦っている？
Ns	ケアプランをつくる仕事だと思っていた。	ケアプランだけでなく、Pt の受診に同行したり等、様々な事をしている。
Ns	ENT するまでのマネジメントをしてくれる人	ENT 後も関わりをもちつづけてくれる方だということがあった
Ns	退院時の指導の役割だと思っていた。	退院後も Dr との情報提供や相談等間に入って窓口となって頂けると確認した。
Ns	今まではケアマネジャーが関わる方が多かった。	今後はその利用者に関わる多職種でも問い合わせ情報が得られるのでは
薬剤師	病院の紹介	退院後のその患者さんの生活面にまで影響することが分かった
薬剤師	在宅⇄病院で医師同士の連携のコーディネーター	多職種を交えて行っている。
薬剤師	病院の中での相談のみ（経済的なこと）と思っていた。	退院した患者さんの先々まで考えている。
薬剤師	仕事内容もよく知らなかった。	重要度認識しました。
薬剤師	どんな仕事内容が分からない	一部分かった
薬剤師	仕事内容分からなかった。	理解できて連携がとれるようになった。
PT/OT		退院前の会合の大変さがわかりました。
PT/OT	特にイメージなし	地域にできるだけかかわって退院直後から介護サービスがはじめられるように協力してほしい
CM	連携の取り方がわからなかった。	良くわかった。
CM		患者の多くの要望にきちんと向き合っている。

CM	ワーカーさんへ何を伝え退院カンファレンスはどのタイミングで・・・等よくわかっていなかった	ワーカーさんのケアマネへ希望していることが、参加前より理解できた
----	--	----------------------------------

⑦「ケアマネジャー」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	患者のマネージャー	在宅医療全体を中心的に考える人
Dr	不明	関われる分野共有 できる分野一緒に患者さんのためにプラスにしていくことができる信頼できる仲間
Dr	在宅の調整をしていく程度だと考えていた。	色々と全体の意見を持たれ、しっかりしたお考えを持たれていることを認識させられた。
Dr	介護保険でのマネジメントをしている。仕事の具体的なことは知らない。	忙しい！
Dr	個々の方々に積極的に取り組まれている	利用者側に中心をおき役所とのかけ橋的な立場も出来ること
Dr	気やすくてのんでいた	苦労がわかりました
Dr	業務内容が非常に多く大変なイメージ	実際の話がきけて、現実味がでた。
歯科	・何をする人だろう	・多職種をうまくつなげる人
	・訪問治療に関する窓口の人	・患者さんにとっての相談窓口
歯科	良くわからない。	具体的に知りたい。
歯科	ケアマネジャーの多忙さを理解していなかった	出来るだけ情報の共有をしたいと思います
歯科	職務内容があまり理解できなかった（理解不足）	自分なりにある程度理解したように思う
歯科	若い方なので利用者さんと向き合っていけるのかなと思っていた	非常に誠実に考えて小さなこともゆるがせにしていけないと思った
歯科	事務的な仕事が多くあまり現場（患者さんの日常生活）にかかわっていないと思っておりました。	患者さんを支えてゆく一番大切（中心的）な役割をになっていると思いました。
Ns		施設や病院への受け入れに対して、非常に労力を使っている
Ns		役割が多いが中心にいる方。CMに医療的な部分をNsがフォローする必要あり。連携が大切。
Ns	サービスの調整のみ行っている	担当者の内面への援助やかかえている疾患よってのサービスの調整などきめこまかなマネジメントを行っていることを知った。
Ns	在宅の中心だと思っていました	お忙しいせいか、勉強不足だと感じました。中心的存在であるため、もっと積極的に多職種とかかわってほしいと考えました。
薬剤師	なかなか連携をとることが少ない	在宅のハブとなっておられることがわかった。今後連携していきたい。

薬剤師	全てを取りしきっている	かなりじゅう軟に対応していることが理解できた
薬剤師	色々なサービスの手配	多職種の中で一番のキーパーソン
薬剤師	どの様な基準でプログラムを組んでいるか知らなかった	意外ときちんとやっていたらいい
薬剤師	介ゴの司令塔	幅広く活躍してるが、負担が大きい
薬剤師		在宅にいる軽度から重度までの患者さんに対する
薬剤師	介護のプランナー	介護のプランナーだけでなく中心的な役割をはたしている
薬剤師		介護制度をしょってたっていると感じました。一番たいへんだーなーと・・・
薬剤師		もっと応援します。
薬剤師		仕事内容多くて大変だ・・・
薬剤師		業務が多すぎる。担当する人数を減らしても事業所がなりたっていくような制度になればもっと先頭になって働いていただけたらと思います
PT/OT	業務が多忙であるためしっかりと利用者に関わるには限界があると思っていた	受診に同行するなどできるだけの努力をされていることがわかった
SW	仕事内容があまりはつきりと理解できていなかった。	とても重要な役割。連携をとる量が多い。
SW		在宅医療においてはとても重要な役割であり、知識やケースの情報をもっている事を知りました。
SW	かなり画一的な理解しかなかった。	かなり個人の力量でその活動が大きく異なることを知った。
SW	入院している場合、連絡をどうとっていくか。在宅に戻った時の対応だけなのではないだろうか	入院している場合でも気軽に連絡をしても良い

### ⑧「居住系施設職員」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
薬剤師	ほとんど分からない分野でした	在宅ではこの職種も大切な職種であった
歯科	全く話を聞いたことがなかった	色々と細かな内容を知ることができた

### ⑨「居宅介護支援センター／地域包括支援センター職員」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
Dr	仕事内容、役割がわかりづらかった	多少わかった
薬剤師	ほとんど分からない分野でした	大切な職種であること分かった

⑩「市役所」へのイメージ

職種	カンファレンス参加前	今現在
薬剤師		人によってはかなり熱心に地域の為に尽力されている方がいらっしゃる
薬剤師	協力者として自分のリストになかった	重要度再認識しました
薬剤師	市の職員は生保担当の人を入れてカンファレンスをしたことがあるが、在宅に関しては書類手続きに関係しているだけだと思っていた。	在宅にも細かに関わっていることがわかった。